

# 広報 家畜衛生

No.305 平成27年11月10日

徳島県家畜防疫衛生センター

西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎  
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚  
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎  
三好郡東みよし町中庄  
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843  
家畜保健衛生所ホームページ URL  
[http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014\\_022000090/](http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014_022000090/)

## 県内野鳥糞便から低病原性鳥インフルエンザ（H5N3）が分離されました！

環境省が実施した、渡り鳥の糞便を対象としたサーベイランス検査により、平成27年10月28日鳴門市大麻町のため池で採材したカモ類の糞便から、**低病原性鶏インフルエンザウイルス（H5N3亜型）**が分離されました。

今シーズン国内でH5亜型鳥インフルエンザウイルスの検出は初めてとなります。

また、環境省が指定する「高病原性鶏インフルエンザにかかるとなるリスク種」について、9月以降徳島県内で飛来が確認されており、本格的な飛来シーズンを迎えるにあたり、引き続き、県内へのウイルス侵入リスクは高い状態となっています。

農場へのウイルス侵入を防止し、本病を発生させないため、次の事項を確実に実施するようお願いします。

1. 異常家きんの早期発見、早期通報にご留意ください。  
鶏の日常の健康観察を徹底し、死亡率の急増等、鳥インフルエンザを疑う状況があれば、**直ちに通報**してください。

<連絡先> 徳島県家畜防疫衛生センター

西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎  
0883-24-2029

東みよし庁舎  
0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しております。

2. 野鳥や小動物の鶏舎等への侵入防止を徹底してください。
3. 農場出入り口・周辺での消毒を徹底してください。
4. 農場に出入りする人・車両の記録をお願いします。
5. 当所からの広報など鳥インフルエンザ関係情報の収集に努めてください。
6. 韓国、中国など発生国への不要不急の旅行は自粛をお願いします。

関係者全員が一致協力し、高病原性鳥インフルエンザの発生防止に努めましょう！

表. 高病原性鳥インフルエンザに係るリスク種の県内渡来状況(平成27年9月～10月)

	科名	種名	季節分類	平成27年9月				
				出島	吉野川河口	大麻山	眉山	海老ヶ池
リスク種1 *1	カモ科	シジュウカラガン	冬					
		マガン	冬					
		ヒシクイ	冬					
		コブハクチョウ	?					
		オオハクチョウ	冬					
		コハクチョウ	冬					
		オシドリ	冬					
	タカ科	キンクロハジロ	冬					
		オジロワシ	冬					
		オオワシ	冬					
		オオタカ	冬					
		ハイタカ	冬					
		ノスリ	冬					
		サシバ	夏					
ハヤブサ科	クマタカ	留						
	チュウヒ	冬						
リスク種2 *2	カイツブリ科	ハヤブサ	留					
		チョウゲンボウ	冬	○				
	カモ科	カイツブリ	留	○				
		ハジロカイツブリ	冬				○	
		カンムリカイツブリ	冬					
		マガモ	冬	○				
	ツル科	オナガガモ	冬					
		ホシハジロ	冬					
		スズガモ	冬					
		タンチョウ	冬					
ナベヅル		冬						
マナヅル		冬						
クイナ科	バン	留						
	オオバン	冬	○					
カモメ科	ユリカモメ	冬						
	ワシミズク	冬						
	フクロウ科	冬						
フクロウ科	コノハズク	夏						
	フクロウ	留						

\*○：飛来が確認された種類

\*1 リスク種1：高病原性鳥インフルエンザウイルスに感受性が高く、死亡野鳥等調査で検出しやすいと考えられる種。

\*2 リスク種2：過去に感染死亡例のある種

